

授業評価 2015 (後期) T1L: 工学部メディカルシステム工学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.80(2016-02-13) by Yas

2015 年度後期 工学部メディカルシステム工学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1L117101	感覚情報処理	3 年後期火曜 4 限	鈴木 昌彦	T1L 1
T1L131001	医用支援機器	3 年後期木曜 2 限	中村 亮一	T1L 2
T1L139001	医用機器産業概論	3 年後期水曜 5 限	伊藤 公一	T1L 3
T1L155001	工業数学	2 年後期金曜 2 限	山口 匡他	T1L 4
T1L172001	メディカルシステム実験 III	3 年後期金曜 3,4,5 限	中口 俊哉他	T1L 5

授業科目名	: 感覚情報処理
担当教員	: 鈴木 昌彦
年次・開講時限	: 3 年後期火曜 4 限
授業コード	: T1L117101
授業アンケート	: 回答者数 10 人 / 受講者数 18 人 (回収率 56%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 9 件)

スライドで字が小さいものもあるので修正した。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 9 件)

自分から質問する学生は少ないので, こちらから質問を投げかけたい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

テーマが多彩であり, 新しい内容が多いのでしっかり復習してレポートを提出してください。レポートは点数をつけています。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 鈴木昌彦

授業科目名	: 医用支援機器
担当教員	: 中村 亮一
年次・開講時限	: 3 年後期木曜 2 限
授業コード	: T1L131001
授業アンケート	: 回答者数 6 人 / 受講者数 10 人 (回収率 60%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 5 件)

出席率・満足度の評価に比して理解度がやや低めとなった。工学部 3 年生を対象とした講義で規制法規・ガイドラインまで含む内容かつ講義時間の制約から総論的な内容であったため、説明の深度としては不十分だったかもしれない。またノート作成のためにスライド番号を入れて欲しいという要求があったので検討したい。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

治療用医療機器の総括的な知識習得の入門編として、機器の特徴から研究、法規制まで広い分野を総括した内容としているため、細部についての理解は難しかったかと思う。この講義を動機付けとしてさらに知識を深めることを行って欲しい。また後半については大学院講義「治療支援工学総論」にて再度より詳しく解説します。

### 3. その他のコメントや連絡事項

法律の勉強は退屈で苦痛かと思いますが、医療機器の研究・開発・事業化・営業どの分野の仕事をしても薬機法や医療機器ガイドラインの知識はあるに越したことはありません。概要と重要なポイントは押さえるようにしておいてください。

作成(者): 中村亮一

授業科目名	: 医用機器産業概論
担当教員	: 伊藤 公一
年次・開講時限	: 3年後期水曜 5 限
授業コード	: T1L139001
授業アンケート	: 回答者数 18 人 / 受講者数 28 人 (回収率 64%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 16 件)

平均点は 4.75 で、大多数の学生が満足しているとの回答であり、昨年度に引き続いて、本講義の高い有用性が再確認できた。この理由として、本講義では、医療機器産業界における最新の技術動向を広く理解することを目的とし、主に産業界で活躍中の先輩達に最先端研究や技術などの分かり易い紹介をお願いしていることが考えられる。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 17 件)

平均点は昨年度よりもやや低い 2.12 となっている。特に本講義では毎回、オムニバス形式で講師および内容が変わるため、その都度、積極的に質問をして欲しいと思う。一方で、学生が質問しやすい雰囲気や環境をつくることについては、来年度の課題としたい。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

本講義では、シラバスや第 1 回目のオリエンテーションで講義概要の簡単な説明はしているが、毎回、オムニバス形式で内容が変わるため、準備学習することは難しいと思われる。しかし、講義が終わってからの復習はぜひお願いしたい。また、毎回、講師の先生も替わるため、質問は遠慮しないでその授業中にして欲しい。

### 3. その他のコメントや連絡事項

昨年度までは 50 名近い学生が受講していたが、今年度は 28 名と半数近くに減少した。本講義では、医療機器産業界における最新の技術動向を広く理解することを目的とし、主に産業界で活躍中の先輩達に医工学に関連する最先端研究や技術などの紹介をお願いしている。普段ではなかなか聞けない授業であり、メディカルシステム工学科だけでなく、医療機器に少しでも関心のある他学科の学生にもぜひ積極的に受講して頂きたい。また、これまでに、進路を考える際にも大いに参考になったとの意見も少なからず見られ、実際に役に立つ授業でもある。

作成(者): 伊藤公一

授業科目名 : 工業数学 (旧名称「応用数学」)  
担当教員 : 山口 匡, 吉田 憲司  
年次・開講時限: 2 年後期金曜 2 限  
授業コード : T1L155001  
授業アンケート: 回答者数 29 人 / 受講者数 44 人 (回収率 66%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 27 件)

これかて、準備学習・復習に時間を使う受講生が非常に少なかったため、講義資料の事前掲示を早めにするなどの工夫をした結果、時間のばらつきはあるものの準備学習・復習を行った学生が増加したと思われる。今後、実施する受講生がさらに増えるように啓蒙していきたい。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

講義内容および実施方針に関して、おおむね良好な評価を受けていることから、今後も基本路線を踏襲していく。特に本講義に関しては、演習時間を多く設ける必要性を再度実感した。

受講生の一部からは、「問題を解く際の途中経過も教えてほしい」という意見が不満点として挙げられている。これこそが「各自で学んでほしいこと」であり、わからない問題を解くための準備まで含めて学習してほしい。また、このような要望に応えるためにディスカッション可能な演習時間を設け、TA を配備しているのだから、それらを活用してほしい。

とはいえ、「受動的に聞かないと学習できない」という状況にあるのであれば、その要望に答える必要はあると感じるため、次年度には何例か詳細な解き方を解説することを考える。

### 3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 山口 匡

授業科目名 : メディカルシステム実験 III  
担当教員 : 中口 俊哉, 大沼 一彦  
年次・開講時限: 3 年後期金曜 3,4,5 限  
授業コード : T1L172001  
授業アンケート: 回答者数 25 人 / 受講者数 44 人 (回収率 57%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 23 件)

質問数が大変多く, 学生と教員間のコミュニケーションが円滑に取れた.  
研究室仮配属の利点を確認した.

Q26. 実験・実習科目の場合, 1 回のレポートの作成に要した時間はどのくらいでしたか? (回答 17 件)

レポートは半期の成果の集大成であるのでじっくり時間を掛けて取り組んで欲しいところだが, 結果として学生がレポート作成に費やした時間数に大きなばらつきがでた. 特に 3 時間未満の学生が 40% というのは驚きの結果であった. 研究室によっては小レポートなどを課して, その時間数を記入した可能性もある.

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

卒業研究の前段階として 2 年前から 3 年次仮配属を開始しているが, 全体のコメントを見ると学生からおおむね良い反応が得られている.

今後の課題としては授業内容の説明方法の改善が必要で, 特にシラバスの充実 (研究室単位のシラバス設定) を希望する声が多かった. 実験内容は研究室別にフレキシブルに設定しているためシラバス整備には困難が伴うが, 学生の意見を反映できるよう検討したい.

### 3. その他のコメントや連絡事項

作成 (者): 中口